



# ようこそ私学へ ～新入生父母歓迎のつどい～

新たな生活に希望と不安を抱えながら入学の時を迎えられる新入生・保護者の皆さん。

この「ようこそ私学へ」のつどいは、新入生保護者の皆さんに少しでも安心していただけたらと考え、毎年大阪の私立学校を会場にして開催しています。このつどいは、新入生の保護者のみなさんを歓迎する現役やOBの保護者、各学校の生徒や教職員も参加します。不安や悩み、学校への疑問など自由に話しに来てください。きっと現役の保護者・先生の皆さんが応えてくださいますよ。記念講演の竹内先生のご紹介は裏面をご覧ください。

**日時：2018年4月29日(日)10時～15時**

**講演：「スマホ時代の子どもたちのために」**

**竹内 和雄さん** (兵庫県立大学環境人間学部准教授 教職担当)

**時程：** 10時～ 全体会  
10時30分～記念講演  
12時～昼食休憩  
13時～ 学園別交流会・生徒交流会

午後から参加も大歓迎  
お気軽にお越しください

**会場：桃山学院高等学校**

大阪市阿倍野区昭和町3-1-64

※お車でのご来校はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。

地下鉄御堂筋線 昭和町駅 3号出口 南へ徒歩約5分

地下鉄谷町線 文の里駅 4号出口 南へ徒歩約8分

JR阪和線 南田辺駅 北西へ徒歩 約10分

**会費：1500円(弁当代を含む)**

**(参加費のみ500円 資料代・講師料など)**

(問い合わせ) 大阪私学助成をすすめる会大阪市中央区谷町7丁目1-39-102

TEL：06-6762-5026 FAX：06-6763-3206

-----きりとり-----

## 2018ようこそ私学へ～新入生・父母歓迎のつどい ～参加申し込み用紙

(参加&弁当の2カ所に○印を)

(→各担任→担当教員→すすめる会FAX)

参加します (全日・午前・午後)

弁当 (要・不要)

年 組 番 生徒名

参加保護者名

## 大阪私学助成をすすめる会 をよろしくお願ひします

私たち大阪私学助成をすすめる会（以下、「すすめる会」）では、家庭の学費負担を軽減し、教育条件を改善するために「就学支援金」や「私学助成制度」の拡充を求める運動に取り組んでいます。日頃から、子どもたちを中心に保護者と教職員がつながり、学校生活についての不安や疑問を出し合いながら、どうすればゆきとどいた教育が実現するのかについて話し合っています。

学費の軽減を求める運動は、全国に先駆けて大阪で1970年代から始まり2010年にはついに公立高校の無償化が実現しました。大阪府では、私学に通う生徒の約半数が学費無償となる制度が出来ました。こうした変化も私たちの運動があったからこそです。しかし、まだすべての家庭が無償化の対象になってはおりません。学校運営に必要な「私学経常費助成金」は、大阪が低水準のままです。2017年度は、全国署名提出集会に多数の国会議員・秘書が参加され、私たちの願ひに賛同されて180人以上の国会議員が紹介議員になってくださいました。私たちの願ひを前進させるためには、多くの声が集まらなければなりません。皆さんのご協力をお願いいたします。

◇2017年度 全国私学助成署名提出数 全国：528万7855筆 大阪：19万4572筆

◇2017年度 全国私学助成署名 大阪紹介議員（15名） 3月10日現在

自由民主党	衆議院議員	左藤 章氏・宗清皇一氏・神谷 昇氏・大隈和英氏・大西宏幸氏 長尾 敬氏
立憲民主党	衆議院議員	森山浩行氏・辻元清美氏・長尾秀樹氏
日本共産党	衆議院議員	宮本岳志氏
	参議院議員	辰巳孝太郎氏・大門実紀史氏・山下芳生氏
希望の党	衆議院議員	樽床伸二氏
無所属	衆議院議員	平野博文氏

## 記念講演講師：竹内 和雄(たけうち かずお)先生のご紹介

### プロフィール

兵庫県立大学環境人間学部准教授（教職担当）

公立中学校で20年生徒指導主事等を担当（途中小学校兼務）。寝屋川市教委指導主事を経て2012年より現職。生徒指導を専門とし、いじめ、不登校、ネット問題、生徒会活動等を研究している。文部科学省、総務省等で、子どもとネット問題についての委員を歴任。NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等にも出演。毎日新聞に「竹内先生の新教育論～スマホっ子の風景」連載中。ウィーン大学客員研究員。



いまSNSを使ったいじめやトラブルが子どもたちに多発しています。発達途上の子どもたちですから、人間関係がうまくいかないことやコミュニケーションの未熟さは当然あることです。

しかしながら、知らない次々と新たなツール・アプリが出てくる中で、子どもたちがどのようにSNSを使っているのかどんな風に危険なのかを身近な大人である保護者や教職員が知らず情報量の多さについていけないのが現実です。竹内先生のお話しは、とてもわかりやすく様々な学校で引っ張りだこの状況です。ぜひ、多数の保護者と教職員にお聞きいただきたい内容です。

